

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
北海道スプリントカップ	2019/6/6	JpnIII	門別	1200m	ミドルペース	重	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	トドイワガーデン	牡6	56	伊藤千	サウスヴィグラス	ミスプロ系	フジキセキ	サンデー系	D	D	C	C	D	D		
	2	エリモグレイス	牡6	56	川島	ゼンノロブロイ	サンデー系	Fusaichi Pegasus	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
2	3	ノボバカラ	牡7	57	阿部	アドマイヤオーラ	サンデー系	フレンチデピュティ	ノーザン系	B	B	A	A	A	B	○	
	4	フィールガスマート	牡8	56	井上	ブラックタイド	サンデー系	Distant View	ミスプロ系	D	C	B	C	C	B	△3	
3	5	シュウジ	牡6	58	三浦	キンシャサノキセキ	サンデー系	Kingmambo	ミスプロ系	A	B	B	A	A	B	◎	
	6	メイショウブイダン	牡8	56	岩橋	メイショウサムソン	ノーザン系	アドマイヤベガ	サンデー系	D	C	D	D	D	D		
4	7	ヴァッフシュテルケ	牡8	56	松井	ダイワメジャー	サンデー系	アイネスフウジン	ハンプトン系	D	C	D	D	D	D		
	8	カツゲキライデン	牡8	56	桑村	ノボジャック	ノーザン系	ホスピタリティ	ハイベリオン系	D	A	B	C	C	C		
5	9	タイセイエクレール	牡6	56	宮崎	ベークバド	ノーザン系	シンボリクリスエス	ロベルト系	D	B	B	C	C	C		
	10	ショコラブラン	牡7	56	森	クロフネ	ノーザン系	プリサイスエンド	ミスプロ系	B	A	B	B	B	B	△1	
6	11	フジノパンサー	牡6	56	石川	ベークバド	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	B	C	C	C	C		
	12	ヤマニンアンプリメ	牝5	54	岩田	シニスターミニスター	ナスルーラ系	サンデーサイレンス	サンデー系	A	B	B	B	B	B	▲	
7	13	ロードメビウス	牡8	56	五十嵐	キングカメハメハ	ミスプロ系	Forest Wildcat	ノーザン系	D	C	D	D	D	D		
	14	タテヤマ	牡5	56	松山	パイロ	ナスルーラ系	フジキセキ	サンデー系	B	B	B	B	B	B	△2	
8	15	シンゲンヴィグラス	牡6	56	阪野	サウスヴィグラス	ミスプロ系	マルゼンスキー	ノーザン系	D	C	D	D	D	D		
	16	メイショウアイアン	牡9	56	落合	マヤノトップガン	ロベルト系	デヒア	ミスプロ系	C	B	B	C	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
ノボバ シュウ タテヤ ショコ フジノ トドイ ヤマニ タイセ シング エリモ カツゲ フィー メイア メイブ ロード ヴァッ	門別競馬場は地方競馬場の中で砂厚が12cmと高知に次いで深く（高知は内と外によって砂厚に差があるので、内～外が同じ砂厚の競馬場では門別が一番深い）、直線距離も330mと大井外回りに次いで長く、単調な前残り決着にはなりにくいコース。あの追い込み一辺倒の個性キャラ・スノードラゴンが4回出走して4回すべてで馬券に絡んでいる（14年2着、16～18年3着）のがこの北海道スプリントカップで、不器用な差し馬でも直線だけで十分に間に合うのが同レースの特徴と言えるだろう。しかし、今年はダート1200mのスプリント戦にも関わらず前走で逃げた馬が1頭もない珍しい組み合わせ。各馬の直近の成績を見ても、逃げた経験があるのはフジノパンサーのみで、いくら他場と比較して差が届きやすい門別1200mでも逃げ、先行勢に有利な展開になるのではないかと。ここは展開重視で印を打ちたい。それでは予想にいきましょう。	回顧
ミドルペース	本命は <b>シュウジ</b> の先行押し切りに期待したい。まず展開を考えると、内のノボバカラが逃げ、本馬が外目2番手。隊列はすんなりと決まりそうで、ダート1200mならスローペースは考えられなくてもハイペースになるとも思えず、展開利を受けるのではないかと。（以下省略）	次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	トドイワガーデン		昨年の北海道スプリントカップでは16頭立ての13着に敗退。今年も実績的に大きな変化はなく、苦戦必至と見ていだろう。		
	2	エリモグレイス		南関東のC1で全く結果が出なかった馬。ダートグレードではさすがに荷が重い。		
2	3	ノボバカラ	○	今回はメンバー的にスタートさえ決まれば、単騎逃げ濃厚で自分の形を作れるだろう。これまでダート1600m以下で1~4番ゲートを引いた時は【5.1.0.2】と好走率が異常に高く、内枠巧者でもあるので、2枠3番を引けたのも大きな強みだ。		
	4	フィールザスマート	△3	近走成績から常識的に厳しいが、JRA在籍自体には田中勝春騎手が騎乗し、溜めさえ利けば、直線で素晴らしい末脚を繰り出していた馬。意外とこの距離短縮はハマりそうな雰囲気があり、大きな期待は出来ないが、ノーマークになるのであれば、一枚押さえておきたい。		
3	5	シュウジ	◎	隊列はすんなりと決まりそうで、ダート1200mならスローペースは考えられなくてもハイペースになるとも思えず、展開利を受けるのではないかと。近走はタフな中山ダート1200mを正攻法の競馬で粘り込む非常に中身の濃い内容。このメンバーで展開利を受ければ、まず粘り込めるだろう。		
	6	メイショウブイダン		JRAから門別に移籍し、3戦を消化するも、10着→5着→5着と結果を残せず。そもそものダート適性に疑問が残る、ここは参加するだけで終わるだろう。		
4	7	ヴァッフシュテルケ		メイショウブイダンと同じくJRAから門別に移籍するもA1で全く結果が出ていない現状。ダートグレードでは明らかに荷が重い。		
	8	カツゲキライデン		昨年の北海道スプリントカップでは5着に健闘するも、今年に入ってから成績が明らかに下降し、近2走はA1で上位争いすら出来ていない。昨年以上の結果を望むのは酷だろう。		
5	9	タイセイエクレール		JRA在籍時代にはヤマニンアンブリメ、シュウジらに完敗していた馬。門別1200mへの適性はありそうなので、このメンバーに入ると能力的に見劣るのは明らかだろう。JRA勢5頭のうち何頭かが崩れてくれれば、自ずとチャンスは巡ってきそうだが、順当なら掲示板までが精いっぱいなのは。		
	10	ショコラブラン	△1	前走東京スプリントが内枠からのインペタで展開、コース取り、馬場の恩恵を受けての4着も、地方ダートグレードに出走してくるJRA勢と大きな差がないのも事実。森騎手は本馬のために同日大井メインで1番人気濃厚なアルタイルの騎乗を断っており、この一戦に駆ける思いも強そう。		
6	11	フジノパンサー		近走は大崩れなく走っているが、前走キンシャサノキセキ・プレミアムではアツトウユー、タイセイエクレールに完敗。ダートグレードではさすがに荷が重だろう。		
	12	ヤマニンアンブリメ	▲	今年に入って地力強化を示し、直近2走はダートグレードで連続2着に好走。このメンバーで斤量54キロは恵まれたと言ってもよく、仮に前残りになっても実質少頭数の地方競馬なら直線だけで確実に追い込んでくるだろう。鮫島良太騎手→岩田騎手の鞍上強化も当然魅力だ。		
7	13	ロードメビウス		3走前から門別に移籍するも、A1で全く結果を残せず。ダートグレードでは荷が重過ぎる。		
	14	タテヤマ	△2	能力的に大きな差はないものの、前走天王山ステークスは1枠1番からロスのない立ち回り。京都ダート1200mの典型的な勝ちパターンにハマった面はあり、恵まれての勝利だったのは間違いないだろう。パイロ産駒らしいレースセンスが最大の武器なので、8枠15番ではパフォーマンスをやや落とすかも。		
8	15	シンゲンヴィグラス		昨年の北海道スプリントカップでは16頭立ての16着。今年も回ってくるだけで終わるだろう。		
	16	メイショウアイアン		地元・門別では【2.3.1.0】と崩れ知らずも、今回はいかんせん相手が強い。展開的にも追い込みが決まりづらいレースになりそう。		